

認定企業及び事業計画の内容

認定企業		ソニー (株)	味の素 (株)	フォルシア・ジャパン (株)
概要	大企業・中小企業の別	大企業	大企業	中小企業
	代表者	代表執行役 吉田 憲一郎	取締役社長 西井 孝明	代表取締役 ケイバン・カルガー
	所在地	東京都港区港南 1-7-1	東京都中央区京橋 1-15-1	横浜市神奈川区金港町 1-7 横浜ダイヤビルディング17階
	資本金	871,925百万円	79,863百万円	50百万円
	従業員	2,428人	3,464人	110人
	事業内容	電子・電気機械器具、医療機械器具、光学機械器具の製造、販売	食料品等の製造、加工、売買、輸出入及び研究開発業務等	自動車部品設計及び自動車部品製造に係るプロジェクト管理
認定事業計画の概要	計画内容	事業会社の本社・研究所の新設 【県外からの立地】	研究所の新設 【県外からの立地】	工場の新設 【県外からの立地】
	立地場所	横浜市西区みなとみらい 5-1-16 ほか 横浜グランゲート	川崎市川崎区鈴木町 1-1	大和市下鶴間 2570-4
	事業目的	<u>横浜市西区みなとみらい地区内に、イメージング・プロダクト&amp;ソリューション分野のオフィス及び研究開発拠点を新設し、主に、レンズ交換式カメラ、コンパクトデジタルカメラ、民生用・業務用ビデオカメラなどのカメラ事業の他、プロジェクターなどを含むディスプレイ製品、メディカル関連機器等の研究開発を行う。</u>	川崎市川崎区内にある事業所敷地内に新たに研究所を新設し、国内に点在する味の素グループ※の食品R&D機能を集約することで、「おいしさ設計技術®」及び「栄養設計技術」をさらに発展させ、生活者自らの健康状態に合った食品の選択肢を広げ、健康寿命の延伸を目指すための食品研究開発を行う。 ※味の素(株)、味の素冷凍食品(株)、味の素AGF(株)及びクノール食品(株)	大和市内に新たに工場を新設し、次世代エンジン用の排気浄化部品を製造する日本初の量産拠点を整備し、国内の自動車メーカーとの取引を増大する。
	稼働開始	2020 (平成32) 年 10月1日	2020 (平成32) 年 11月30日	2020 (平成32) 年 4月30日
	投資額／ 操業開始 時の 雇用人数	11,313百万円／900人	4,261百万円／188人	3,113百万円／15人
県による認定	対象産業	IT/エレクトロニクス関連産業	未病関連産業	輸送用機械器具関連産業
	支援制度 (活用予定)	・企業誘致促進補助金 (投資額の5%)	・企業誘致促進補助金 (投資額の10%) ・税制措置 (不動産取得税の1/2軽減)	・企業誘致促進補助金 (投資額の10%)

認定企業		(株) 西部技研
企 業 概 要	大企業・ 中小企業の別	中小企業
	代表者	代表取締役 隈 扶三郎
	所在地	福岡県古賀市青柳 3108-3
	資本金	100百万円
	従業員	317人
	事業内容	省エネルギー機器、空気調和設備 等の製造販売
認 定 事 業 計 画 の 概 要	計画内容	工場の新設 【県外からの立地】
	立地場所	高座郡寒川町田端 1718
	事業目的	<u>寒川町内の民間貸工場に工場 を新設し</u> 、空調設備と一体とな る高性能な省エネルギー装置で ある全熱交換器の製造を行う。 福岡県内の現工場より生産能力 を向上させることにより、関東 の取引先からの短納期受注や今 後の受注増加に対応できる体制 を構築する。
	稼働開始	2018（平成30）年 12月1日
	投資額/ 操業開始時の雇用人数	- / 10人
県 に よ る 認 定	対象産業	IT/エレクトロニクス関連産業
	支援制度 (活用予定)	・企業誘致促進賃料補助金 (賃料月額1/3)

認定企業		日亜化学工業（株）	日本電子工業（株）	共進精機（株）
企業概要	大企業・中小企業の別	大企業	中小企業	中小企業
	代表者	代表取締役 小川 裕義	代表取締役 竹内 博次	代表取締役 木村 勲
	所在地	徳島県阿南市上中町岡 491-100	相模原市中央区中央 3-14-7	川崎市幸区新川崎 2-10
	資本金	52,026百万円	119.5百万円	80百万円
	従業員	7,799人	129人	47人
	事業内容	LED、半導体レーザー等光半導体及び関連応用製品、並びに電池材料、蛍光体等化学品の製造、販売、研究開発	金属製品の表面硬化処理（高周波焼入れ加工・プラズマ窒化加工・セラミックコーティング等）、プラズマ応用装置・高周波装置の製造販売	射出成形機及び押出機のスクリーン、シリンダーの製造
認定事業計画の概要	計画内容	研究所の建設 【県内再投資】	工場の建設 【県内再投資】	本社・工場の建設 【県内再投資】
	立地場所	横浜市神奈川区守屋町 3-13-18、19	相模原市中央区田名字白雨台 3656-7	川崎市幸区新川崎 2-10
	事業目的	<u>横浜市神奈川区にある研究所敷地内に新たに研究所を建設し、光半導体を用いた応用製品の研究開発拠点としての充実と研究者の増員を進めるとともに、社内外の技術者同士の交流の場とすることでR&amp;Dの発信拠点とする。</u>	<u>相模原市中央区内に新たに工場を建設し、セラミックコーティング部門などを移転し規模拡大を図ることで、好調な自動車部品の受注に対応し、新たな設備投資により、生産能力の向上を推進する。</u>	<u>川崎市幸区にある本社・工場敷地内に新たに本社・工場を建設し、プラスチック及びゴムの射出成形機のスクリーン等の製造を行う。顧客のニーズに対応するため、機械装置を新規導入することで、業務効率化や生産能力の強化を図る。</u>
	稼働開始	2020（平成32）年 6月1日	2019（平成31）年 10月1日	2019（平成31）年 12月1日
	投資額／操業開始時の雇用人数	4,572百万円／50人	897百万円／11人	171.2百万円／14人
県による認定	対象産業	IT/エレクトロニクス関連産業	輸送用機械器具関連産業	IT/エレクトロニクス関連産業
	支援制度（活用予定）	・税制措置 （不動産取得税の1/2軽減）	・税制措置 （不動産取得税の1/2軽減） ・企業誘致促進融資 （6億円）	・税制措置 （不動産取得税の1/2軽減） ・企業誘致促進融資 （1億2,000万円）